

筆山

第7号/1988・12

土佐中・高同窓会 関東支部会報

〒112 東京都文京区水道1-10-7 同学社気付 ☎03-816-7011 編集人/小松勢津子(35回)

かつて父と交した会話
今はなつかし
息子と交す



「ねエ お父さん」
「ン」
「汗かいたあとつて
気持ちいいねー」
「そうやね
がんばったきね」

母校だより

- 62年度末退職の先生
▽高崎元尚先生(講師・16回)
- 63年度より新任の先生
▽吉良 修先生(技術・53回)
- ▽千頭 裕先生(事務・58回)
- 第26回中学デイクティション・コンテスト優勝

同窓会本部だより

- 総会盛大に開く
同窓会本部の総会が8月13日午後4時から、高知市の新阪急ホテルで開かれた。
- 会には中島明会長、松浦勲校長、各支部代表など約二百人が出席。新卒業生(63回)多数が参加、若さと活力のある会となった。なお64年は8月12日(土)に開催される。

支部だより

- 規約改正など討議
学年幹事会開く

63年度の学年幹事会が10月1日、芝グラウンドプラザで開かれ49名が出席した。
宮地支部長の挨拶のあと議

編集後記

*野球部11年ぶりの四国大会出場。高知の街でも久しぶりに、同窓生の会話がはずんだそう。スタンドのあちこちで見られたミニ同窓会。あの連帯感。今度は甲子園で。(A)
*27歳で結婚して50年間つれそえば、喜寿と金婚のダブルの喜び。計算は簡単だが現実には難しい。近藤先輩の年輪に同窓会の歴史を感じる。米寿をめざし、いつまでも若くお元気で。(I)
*28回の女性達7人のヨーロッパでの同窓会に刺激され、わが35回の女性の一部で「毎月1万円貯金し、3年毎に海外旅行せん?」という話になった。持つべきはよき友、よき先輩。(K)

事に入り、活動報告、会計監査報告など承認。28回生以降の学年幹事の定員を3名(これまで2名)とすること、会計年度を9月1日から8月31日とする(これまで1月1日から12月31日)規約改正案を可決。新年総会で承認後発効。
新年総会は1月21日(土)午後4時から東條会館で開催、竹邑類氏(35回)演出によるジャズダンスショーがある。

●63年後半支部活動報告
▽7月18日 常任幹事会(アカサカ22・18名出席)▽8月13日 高知総会(宮地支部長ら3名出席)▽9月9日 6回生の近藤先輩の喜寿を祝う会(記念品と感謝状贈呈)▽10月1日 学年幹事会(芝宮地支部長の挨拶のあと議)

●向井隆豊個展 7月4日 15日まで、銀座のダバラン・ギャラリーで開催。向井氏は44回生、東京芸大油画科卒。●柳原睦夫陶芸展 11月5日 9日まで池袋の西武工芸画廊で開催。柳原氏は28回生、京都市立美大専攻科修了、現在大阪芸大教授。京都市在住。

●年会費納入状況
63年度の支部年間会費の納入者は11月15日現在で八九九名となりました。これは過去最高の数です。ご協力ありがとうございました。ひき続き64年度の年会費二〇〇〇円をよろしく。

●個展を開きました
向井隆豊個展 7月4日 15日まで、銀座のダバラン・ギャラリーで開催。向井氏は44回生、東京芸大油画科卒。●柳原睦夫陶芸展 11月5日 9日まで池袋の西武工芸画廊で開催。柳原氏は28回生、京都市立美大専攻科修了、現在大阪芸大教授。京都市在住。

＜土佐高出身のみなさまへ！＞

ますますお元気で 各方面に御活躍の由とても嬉しく存じて居ります
銀座の シックで おおらかなお店ですので
お気軽に御利用下さいませ
若くてキレイな子 がそろっています ……
くらぶ はつとり
銀座 8丁目角ゴルフビルB1 571-5333・572-2586

都会の中の小さな土佐

土佐料理 土佐 料理

〒104 東京都中央区銀座7-6-8(西五番街) ☎572-9640

- 赤坂店(赤坂みすじ通り) ☎585-9640
- 新宿店(新宿住友三角ビル) ☎344-6585
- 渋谷店(シオノギ渋谷ビル) ☎407-9640
- 銀座店(新宿野村ビル) ☎348-2727
- 加寿翁(新宿住友三角ビル) ☎345-0881

料理 小 赤坂「土佐」
港区赤坂3-13-2
アダンビル 4階
電話 586-9454

千代田線 赤坂
みすじ通り
TBS(テレビ)
一ツ木通り
山王下
山王
日経
ホテル
ニュージャパン
赤坂見附
山王
山王
山王

季節のふるさとの味

土佐酒蔵

東京都中央区銀座7-12-4 サンリード地階
電話 (03) 545-3855 銀座第一ホテル通り

INTERVIEW ⑥

芝居の道三十年、
今でも舞台の前は震えます。

北村総一郎さん

29回、劇団俳優
本名「北村総一郎」

「『世阿彌』公演が大変な人気ですね。義持と音阿彌という二役を演じておられますが、ご苦心は？」

「松本幸四郎さんというすばらしい役者さんと共演でき、ものすごく勉強させられました。ただ熱中してると、こちらでも新劇ではなく歌舞伎調になっちゃうんです。それと、台詞がとて多く、それも選びぬかれた言葉がちりばめられていますので、台詞が出てこないアドリブがきかないんですよ。普通の現代語でし



「大学は農学部だったんですが、学生演劇のグループに入っていて舞台上に立ったり、NHKの放送劇に出たりで、芝居、芝居の毎日でした」

からですか。

「いや、土佐中に入ってから突如演劇に目覚めまして……」

『俊寛』や『修善寺物語』等を堀詰劇場で上演した頃、『三年寝太郎』やもう役柄は忘れてしまいましたがいくつか出演しました。倉橋由美子さんと共演したこともあります。また演劇コンクールに出て二位に入ったこともあります。

大学を出てから文学座を受けたわけですが、八百人ぐらいの受験生でした。三十数名の中に残ったのですが、落っこちてたらどんな人生だったでしょうね。同期の方では、小川真由美さん、寺田農さん、樹木希林さん達がいました。今残っているのはもう五、六名になってしまいました」

もしましたが、高知の方から「土佐弁がなっちゃらん」というお叱りの手紙で大変でした。——むずかしいんですよ、役者さんは台詞を憶えるのに一杯ですし、それに全国の皆さんに理解して貰える土佐弁でなくちゃなりませんから」

——地方出身の俳優さんでは言葉にずい分苦労する方もいると聞いていますが。

「土佐弁というのは発音が非常に明瞭で、アクセントに注意するだけです。それと、たまたま、今でも台本を初見で読まれた時、あれっこの単語のアクセントはどっちだったかなとまどうことがありますね」

——高知へ帰られることは？

「両親とも亡くなりましたし、二年に一度ぐらいでしょうか。映画の『郷愁』に出演した時は一週間ほど中村でロケをしました。古いキャバレーなどが昔のまま残っていてとても懐しかった……」

——テレビにも古くは『おしん』『春の波濤』から最近の『武田信玄』までずい分たくさん出演されていますね。

「テレビというのは出演者が創り上げるものでなく、プロデューサーと監督によって創られるものだと思います。台本がやつと出来あがり、翌日からもう仕事ということだったのでありますから」

その点舞台には練りあげられた脚本があり、出演者達が四十日近くいっしょに練習して創り上げるもの。そして舞台上に立つて、その日の観客の層によっても出来が違ってくる。『世阿彌』の中の台詞ではないんですが、お客さんという光によって私共役者という影が出来あがるわけです。今でも舞台に出る直前には震えることがあります」

最後に、北村さんにとって土佐中・土佐高とは？

「とにかく人格形成のされる時期の六年間というのは大きかったです。多くの友人を得ました。草野球をしたり、劇に出たりで。卒業アルバムに書いた通り『演劇にすべてを……』の人生となりました」

出版レーダー

- ▽合田佐和子氏(三四回)
『眼玉のハレム』パルコ出版・三二〇〇円
- ▽山野井(穂岐山)道子氏(三六回)
『ガン病棟にきてみない?』窓社・一三〇〇円
- ▽野田 正彰氏(三七回)
『漂白される子供たち』情報七

山野井道子さん逝く

山野井道子さんが膵臓がんとの闘病記『ガン病棟にきてみない?』(出版レーダー参照)を残して、昨年十月に亡くなられた。病気になるって、まずまいったのは、これがおそろしくシリアスだということだ。癌——不治の病——幼い子を残してもうじき死んでしまう——。

陰々滅々。はげしく暗い」

「あれが病院の地下で白衣を着た人がやってくるから治療ってことになるけど、……どっかの建物の暗い地下室かなんかでおんなじことをやってごらん、リッパに拷問ですよ、リンチですよ」

このようにこの種の闘病記には類のない明るく軽やかな筆致で、山野井さんは病氣とは何か、生と死とは何か、現代医療のあり方などを問い明かしている。山野井さんの強じんな精神力と鋭く繊細な感性が全編に息づいているようだ。合掌。

ンター出版局・八八〇円
『生きがいシエアリング』
五四〇円

▽黒鉄ひろし氏(四一回)
『巨人ファンでなぜ悪い?』学習研究社・七三〇円

●第15回筆山会ゴルフ
11月12日、北岡会長以下23名の参加を得て、快晴の茨城県グランドスラムCC(バー74)で行われた。

①秦 道夫	33回	89	G
②池添久茂	33回	92	H
③植田 豊	35回	20	N
④沢村良節	33回	16	
⑤溝淵真清	32回	76	
B G 秦 道夫	45	77	
	44	89	
〔その他の参加者〕			
北岡龍海	5回・久保内貞行	20回	
野沢真次	25回・山本高敏	25回	
山村泰造	26回・浅井伴泰	30回	
西内 一	30回・大町 玄	30回	
千原 宏	30回・原 弘道	30回	
田所鴻一	30回・三宮祥弘	30回	
松本祐一	31回・宮川洋治	33回	
千原 望	33回・竹田幸雄	33回	
浅井和子	35回・公文敏雄	35回	
次回は、来年度を祝う記念大会として、5月25日に神奈川県レインボーCCで開催の予定。			
参加希望者は事務局まで。常任幹事「宮川洋治（33回）電58217891。			

21世紀のための友情計画に参加して



労働省婦人局婦人福祉課
53回Oホーム 矢野 真実

私は現在、労働省婦人局婦人福祉課で働いています。

今回参加した「21世紀のための友情計画」とは、21世紀を担うアジアの青年を日本に招へいし、同世代の日本人の青年との友情を培うことにより、将来の日本とアジア・太平洋諸国との友情の絆を強めていこうという目的で始められたものです。この計画は59年より始まり、今年で5年目となります。JICA(国際協力事業団)が実施母体となり、青少年団体等の協力を得て実施されています。

スピーチ発表がありました。シンガポールの女性からは、女性が働くことについての話題がとりあげられました。日本よりも働く女性の地位が高く、最近では、高学歴女性の結婚難が問題になっているようです。午後は、オリエンテリング・ハイキングということで、白樺の美しい高原をクイズを解きながら散策しました。途中の休憩の時間にお弁当を食べたのですが、女性は、シンガポールは国が狭いのでこんなに歩くのは初めてだと語っていました。男性は、外で地面にすわって食べるのは軍隊の訓練を思い出す(高校卒業後2年間、徴兵制がある)と言ひ、国の差を感じました。

私の参加したのは、シンガポール都市勤労青年のグループでした。9月末から1か月間日本に滞在したのですが、1週間ほど日本についての講義を受けたあと、三泊四日日本の勤労青年との合宿という

うことで、私はこの合宿に参加させてもらったのです。

シンガポール側は23人、日本側は25人で、両国とも公務員と一般企業勤務が半々位でした。男女もそれぞれ半数ずつで、年齢は25〜35歳でした。

合宿は奥志賀高原で行われました。シンガポールというのは、日本の淡路島位の大きさしかなく、全く山がないそうです。バスの中から本当に珍しそうに山の写真をとりまくっていました。日本のメンバーとは事前に顔あわせがあったのですが、シンガポールのメンバーとは初対面の上、会話は英語ということで二重の不安でした。初日は、打ちとけるためにレクリエーションがあったのですが、英語が口から出ず、あがってしまうばかりで、本当に苦労しました。

二日目は、午前中に代表者の

スイスとソウル・オリンピック

48回Sホーム 岡田 憲治



(在スイス日本大使館
一等書記官)

私が勤務しておりますスイスには、土佐高時代世界史の授業で習った地名や人名が相当地あります。先ず地名としては、一九二七年に海軍軍縮会議が開催され、また国際赤十字社、GATT、ILOなどが所在するジュネーブ、第一次大戦後のドイツの賠償額に関連したローザンヌ会議が開催されたローザンヌ、一九二五年ラインラント保障に関係するロカルノ条約が締結されたロカルノがあげられます。

高校時代、試験で苦しめられた世界史の出来事が、当地におりますと机上の話としてではなく、現実の姿として存在してまいります。

私が本省の北東アジア課在勤当時、韓国の人々は次のように熱っぽく語りました。

ジュネーブにあります元国際連盟本部の国際会議場に立ち、一九三三年松岡洋右代表が席をけて退場し、日本が国際社会で孤立化へ進んだのかと思うとその会議場に歴史の息づかいを覚えます。

私も、ベルンから約百キロ離れたIOC本部まで何度も足を運び、サマランチ会長の記者会見等をききました。サマランチ会長は語学に堪能な方で、記者会見でも最初仏語で話し始め、途中英語に変わる

「大統領交代とソウル・オリンピックを控えた一九八八年は韓国にとって真に大切な年です。韓国が国際社会で飛躍的に発展しうるか否かはこの年を乗り越えるか否かにかかっているのです。日本における東京オリンピックのようにソウル・オリンピック成功をお目出度う。極東から遠く離れたスイスでオリンピック問題を見つめています」

次に人名としては、宗教改革にゆかりの深いカルヴィン、ソウイングリヤや社会契約論で名高いルソーもスイスの人です。

私は、韓国の友人たちをそう祝福したい気持ちで一杯です。

今、こんなことをしています

⑤

私は、韓国の友人たちをそう祝福したい気持ちで一杯です。

十一年ぶり 野球部 四国大会出場果たす

春の選抜甲子園大会への出場をかけた秋の四国大会に土佐高野球部が十一年ぶりに出場。一回戦で強豪池田を破った徳島代表の小松島西に惜しくも敗れたが、その戦いぶりには名門土佐復活の期待に十分応えるものだった。

県大会では中村を4-2、追手前を9-2、安芸工を10-0と破って決勝進出、明徳は燃えた。

一年生主体の若いチームなので、ひと冬越せば体力も強化され、一段の飛躍が期待される。

四国大会一回戦

(県営春野 11月20日)

小松島西(徳島)	002000030005
土佐(高知)	01101010004

精一敗、土佐野球

—— 報知新聞 (63.11.21付) より転載 ——

高校野球ファンには懐かしい顔、土佐が十一年ぶりに四国大会に登場、今春のセンバツに出場した小松島西と好ゲームを演じたが、一点差で惜しくも敗れた。初戦で散々といっても互角勝負をしたことを評価する声は強く、51年春を最後に遠ざかっている「土佐の甲子園」はまんざら夢ではなくなってきた。

甲子園のファン心をくわえた、あの攻守交代時の懸命な全力疾走が看板の土佐が持てる力をすべて出さした。先発した山根が3回につかまり、勝ち越して逃げ切り優勢に入った4回、救援の川村純が打ち込まれて逆転負け。ミスも出た。しかし、土佐の野球を精いっぱい、披露した。レギュラーのうち両投手を含めて6人を一年生が占める若いチーム。ベテランの龍尾監督は「ウチの野球部の復活のために大きな礎(いしず)を築いたと思う」と一点差負けの悔しい敗戦の中に光を見つけた。

サイクル男で話題を呼んだ玉川(慶大・日本石油)が主砲だった51年センバツを最後に甲子園から遠ざかり、四国を代表する進学校チームは部員不足に悩まされて長期低迷。「最近は何の年も8人から11人。受験のための退部は甲子園の魅力で防げるのです」

安打数は小松島西の12本に對して土佐日本と互角。全力プレーのすがすがしさは好感度NO.1チームに選考委員の間では「落とすのはもったいない」という声があがり、来春のセンバツはまだまた望みはある。一点差で敗れても、勝負をあきらめるのはまだ早い。

見えてきた甲子園 監督 龍尾良雄

この度の十一年ぶりの四国大会出場に際しましては、同窓会関東支部・筆山会より激励の電報を頂戴し、誠に有難うございました。多数の会員の方々にははるばる応援に駆けつけて頂き感激でした。

選手達は温かい声援を背一杯に受け、善戦敢闘しましたが、逆転につぐ逆転の結果、今一歩及ばず、小松島西に5対4で屈しました。大勢の方々のご期待にそえず、口惜しい想いをしましたが、土佐高らしい良い試合ができたことはとても救いでした。

東京のサンケイホールで「野球部の復活を目指して」関東支部の皆さんからご激励を頂いて早や三年。この度の県予選と四国大会を通じて、はるか彼方に遠ざかっていた甲子園がやっと見えてきたような気がします。

選手達もこの貴重な体験をもとに、球場で流したあの口惜し涙を甲子園への熱情に変え、精進への糧として、来年こそは「土佐高野球部復活」という大輪の花を咲かせてくれるものと確信しています。一層のご支援とご声援を賜りますようお願い申し上げます。

同窓会も国際化の時代です。

28回生8人の美女ヨーロッパに集う ★取材/Y&Y大原由紀・金沢由里(55回)

まず28回生関東支部の女性達の結束ぶりを紹介すると、卒業生80人中26人が所属する「やまもも会」と、小田急線・京王線沿線に在住する12人で結成した「美女会」があります。そのパワーは土佐の男達がタジタジとなるほどで、今回の海外での同窓会を計画・実行したのもその団結力でした。

メンバーは小田(旧姓長崎)史枝、井内(川崎)摩耶子、沢本(鎌山)雅子、福本(柳村)栄子、明神(中内)和子、吉村(安岡)穂、壺坂(溝渕)艶子さんの七名。この美女たちが、10日間の日程でドイツ在住の山本(馬場)梨可さんを訪ねての旅行でした。因みに費用は50万円ほどだったそうです。



ヨーロッパを訪れた7人の美女と山本さんの夫君純史氏26回。

しかし、主婦であり母親である彼女達ですから、いくつかの難関が待ち受けていました。そこで彼女たちが考えたのは、家族への説得として毎月毎月呪文のようにデモる、ご主人・子供達をご飯の炊き方から教育する(女の子は花嫁修業にもなつて一石二鳥)、旅行中の食事は全食フリージングしておく、費用は3年がかりで毎月中国フアンドへ積立てる(ヘソクリ上手は良妻です)等々。家族は「どうせ慣れてますから、どうぞどうぞ」という言葉が出てくるほど成長したとか。

つて○歳の誓いを新たにしたらと……。

このように一生に一度、友達とともに現実を抜け出して青春時代にもどり、胸をときめかす時間を自分達の手で作出すことはとても有意義でステキなことだと思ひ、感動した私達は、今からせっせと積立てでも始めようかと考えている今日この頃です。

北海道だより

31回 吉野保徳

とかもしれないが、初めての単身赴任であることなどである。

着任早々連絡をくれた同期生の一人から、北海道高知県人会とその幹事会ともいうべき土佐会のあることを教えてもらった。六月のある日、県人会の「鯉のたたき」を食って故郷土佐を偲ぶ会」に出席した。

県人会というものは、故郷

からの距離に比例して結束が固くなるものだろうか。中内知事以下高知県からの出席者多数で、総数百名以上に及ぶと思われる土佐弁の大集団である。

旧知の顔はない。適当な場所を見つけて、一杯やり始めた。「おまんどこぜよ」「佐川じゃが」「わしや越知じゃきに、じつき近じやいか」「まあ一杯やりや」という具合で初対面もすぐ百年の既知と化してしまふところが、同郷人のよさである。二次会はこの出席者の一人がやっているというスナックへ。

土佐会というのは、土佐にちなんだ毎月十三日に幹事会的な集まりをもっている。場所の設定など実質的な幹事役は同窓の先輩がとりしきっている。

「遅れて来たきかけつけ三杯ぜよ」といわれて飲みはじめ、「酒はやっぱり土佐鶴ぜよ」「いんにや司牡丹が上ぜよ」と論争のうちに盛り上がった。土佐人ならではの雰囲気のおおらかな霧の会合を毎回楽しみにしている。次回が今から待たれてならない。

思い出の先生がた④

山岸

泰先生

(昭和52年逝去)



父と日曜市と俳句

山岸先生長女・三三回Oホーム

慳谷 孝子

父が逝ってから十一年になる。

今年の八月十三日に、私たち三十三回生の卒業三十周年の同窓会が高新ホールで盛大に開かれた。その受付の片隅に中学・高校時代の写真が展示され、過ぎ去った日々を思い起こさせてくれた。私はゆっくり歩きながら過ぎし日をたどっていた。その時、Kホームだった山崎君が「これは授業中に僕が撮った」と一枚の写真を親切に指さしてくれた。

そこには、黒板に問題を解きつつ説明しているような父の姿がとてよい角度に写っていた。この写真のおかげでタイムスリップし、会場のざわめきがあたかも教室の中に

いるような気持ちにさせてくれた。私のいたOホームの隣の教室が、父の担任するKホームだった時期がある。その時の「まっことのうがわるい」という方言がびつたり、なんとなく窮屈だったことも思い出した。

父がもしこの同窓会場に居合わせたら、案内して下さる山崎君を光る頭を撫で撫で見て、「てにあわんのう」とその茶目気溢れんばかりの笑顔を見せて、さぞ喜んだことだろう。

兄(三十回)、弟(三十六回)も同窓生である。父の在世中には、私たち三人が集まれば、先生方や友達のことになり、共通の話題で夜の更けるまで談笑したことだった。その傍

には、いつもにこやかに聞き入る父の姿があった。親と子というある空間の隔たりはあっても、いつも暖かい空気が流れ、私達を包んでいた。

常日頃は、父は机に向かっている時間が多かった。その父の趣味は日曜市にでかけることであつた。その時にはよく「行かんか」と私に声をかけてくれた。私はそれを聞くに心弾ませ、すぐに父と並んで家を出た。西町の家から高知城の北のすべり山を廻り、

植木の多い日曜市の西端にでる。それは父のいつものコースであつた。親娘はこれといった会話を交わすでもなく、ときどき植木や寒蘭の店先きで足を止めた。父はとも興味深そうに時間をかけて眺めたが、買いそうに見えてなかなか買わなかった。父のよく光る坊主頭が印象的だったのか、一度立ち寄った店の主から「めずらしい蘭があるぞね」とか「今日は寄って行かんか

ね」とよく声がかかった。

私が一緒にいる時にはふしぎに一鉢も買うことはなかった。けれども長年の間には蘭鉢などが大部集まった。その世話は父の在世中からずっと母の日課となつていく。老いた母は「存外しんどいぞね」と言いがらも、十一月に入つて花芽が伸び、玄関いっぱいに品のよい香りを漂わせると、在りし日の父をなつかしんでいる。私にとつても実家を訪ねる楽しみの一つである。

父の書棚の専門書の中に、俳句の歳時記が小さいながら堂々とした面構えで納まっている。以前からふしぎでならなかった私は、最近短歌の勉強を始めたのをきっかけに母に聞いてみた。「若い時から俳句を作りよつた」とさりげない返事がかえってきた。父は

その気配を微塵も感じさせなかったし、一句すら書き残していないようである。

私は最近よく、日曜市を一

坐つてじつと庭を眺めていた父を思い浮かべる。あの時、父は頭の中で五、七、五の言葉であれこれ吟味し、一句が出来上がれば、あたかも黒板の文字を消すように作った句を空に飛ばしていたのかもしれない。私は父がどんな句を作っていたかなと想像し、未知数の余韻を与えてくれたことにある満足を感じたりもしている。

父のお墓は、市内を一望できる高見山の陽当たりの良い処にある。そこからは父が人生のほとんどを送った土佐高校が目近に見える。そのなつかしい土佐高校を雨の日も風の日も見ている父は毎日退屈することがないだろう、と呑気な娘は心を安んじている。父は今も私の胸ふかく生きて

思ひ出を綴りてゆけば彼岸花燃ゆるなり父と過ごした日々



記念品を贈られる
近藤先輩(中央)夫妻

近藤先輩の喜寿を 祝う会盛大に開く

関東支部の同窓会を長年にわたってお世話して下さっている六回生の近藤久寿治先輩の喜寿とご夫妻の金婚を祝う会が、九月九日、芝グラウンドプラザで開かれた。

会は同窓有志の主催で約百人が出席。発起人を代表して弁護士安芸勉氏(八回)が近藤先輩の半世紀にわたる同窓会の歴史や人柄をユーモアをまじえて紹介した。



若き日の近藤さんを
訪ねた大嶋校長(左)

戦後の物資乏しい頃、近藤先輩のお宅に転がり込んで「迷惑をかけた」青年たちもいまではすっかり熟年の域。酒や食事にありついていた思い出話とともに、「近藤さんも大変だったろうなあ」。ハイキングや植物園でのフォークダンスなど、それぞれの青春を懐かしみ、話題は尽きなかった。支部からは感謝状と柳原睦夫氏(二八回・大阪芸大教授)の陶芸作品を記念品として贈った。

お酒がまわると

「おぼん、おぼん」

土佐高の思い出②

吉田 富士子 (元教諭)



大嶋校長は物事にこだわらない方だった。お酒がまわってくる私をつかまえて、おぼんおぼんを連発された。二十八回生が高一になった時片岡先生の朝の補習授業が始まり、私も校長の許可を得て聴講させて頂いた。概要の概という字は「くるる」と読み、扉の開閉を司る大切な仕掛け「戸ぼそ」「戸まら」から成るとか、赤貧の赤とは「皆無」ということで貧乏に赤い「こんな冗長な物は読むに

来る生徒をたまには困らせてみようと思っ出て出した私の魂胆を見すかされて対応に困った。小松先生はユニークな社会科の先生であつたがその時から生徒の読書指導的な役割を果たして居られた。その小松先生からお米やらお餅やら頂いて引揚者の私はとても有難かった。ある時漢文の吉本先生の希望で「細雪」をお貸ししたら翌日返しに來り期間だったが私は高知にすっかり結ばれていると思つた。

千頭、斎藤、岡、池田の女の諸先生方を思い出すと限りない懐かしさが広がってくる。創立六十五周年記念の会員名簿に載っている写真の中に昭和二十六年校舍全景という懐かしい一葉を見つけた。

二十七年の「ある日の職員室」なる一枚は昔のままで私の席はここだったという記憶があるが、これは記憶がいかもしれない。二十七年には一部新しくなつたとも聞いているので、でも岩井先生らしき方が私のいた時と同じ所に腰かけて居られる……

同じ二十七年の職員集会写真にも目を凝らした。懐かしい顔ばかり。たつた二年の在職期間だったが私は高知にすっかり結ばれていると思つた。

メガネ、コンタクト、補聴器のことなら何でもご相談下さい。
世界一のメガネ店と松下幸之助氏激賞!

全国37店舗 **富士メガネ** 大手町店

取締役店長 窪田 秀忠 (38回生)

千代田区大手町1-6-1 大手町ビル
TEL 03-214-4751 日祭日(休み)

衆議院議員 田村良平

秘書 田村 公平 (40回生)

国会事務所 〒100 東京都千代田区永田町2-2-1

衆議院第一議員会館530号室

電話 03-581-5111 内線 5530・6530

03-508-7260(直通)

高知事務所 〒780 高知市本町5-6-35(つちばしビル2F)

電話 0888-75-7556



住まいの情報センター

ミツバ ホームサービス

代表取締役 中屋隆彦 (41回生)

〒151 東京都渋谷区幡ヶ谷2-13-1 平沼ビル・幡ヶ谷北口駅前
TEL (03)320-0320 FAX (03)378-7097

弁護士

田村 公一 (41回生)

〒107 東京都港区赤坂4丁目8番6号
赤坂余湖ビル4F
南青山総合法律事務所
電話 03-403-5708
FAX 03-403-5739

OFFICE

MONOCHROME

オフィス・モノクローム

●写真撮影一般

●モノクロ写真現像処理

代表 門脇 光明 (45回生)

〒162 新宿区西五軒町8-2

フォーラムビル2F

☎03-269-3130

旅行のことなら海外・国内を問わず
なんでもご相談下さい

運輸大臣登録一般旅行業第142号

株式会社 スペース

取締役社長 竹内 一郎

(36回生)

〒102 東京都千代田区九段北3-2-4

TEL・(03)263-7661(代表)

セキシステムサプライ株式会社

〒157 東京都世田谷区粕谷1-17-17

☎03-329-5421(代)

株式会社 セキ

〒567 大阪府摂津市鳥飼下2-1-1

☎0726-54-3733(代)

取締役社長 関 雅 夫 (39回生)

株式会社 日本テクナート

株式会社 日本アステック

代表取締役 小島 三郎 (40回生)

取締役営業部長 門田 健一 (43回生)

〒168

本社 東京都杉並区和泉4-51-15(千代田ビル)

本部 東京都杉並区和泉4-42-32(中根ビル)

TEL 03(313)7251・FAX.03(318)4356

六本木司法書士合同事務所

司法書士 横原 温幸 (41回生)

司法書士 鶴和 千秋 (41回生)

〒106 東京都港区西麻布1-8-20 エメロード
西麻布3F 電話(470)1055 FAX(470)1425

火災保険・自動車保険・積立保険…etc.
損害保険のことならおまかせ下さい!

大蔵省認定損保代理店
安田火災海上保険(株)

プランニングトウキョウ

中江以佐子 (44回生)

〒165 中野区新井1-11-2
TEL (03)388-0121(代)

千代田化工建設株式会社

管理第1本部
取締役本部長 **横山 禎夫**
〒105 東京都港区芝2丁目31番19号
電話 03-456-1211

Management & Systems Consultants

株式会社 システムズ プランニング

代表取締役 **小 倉 璋**
(32回生)
本 社 東京都新宿区本郷町4番地4 祥平館別館
〒160 電話 03(351)0351
大 阪 大阪市淀川区西中島3丁目18番21号 南極ビル3F
事務所 〒532 電話 06(306)5636



リクルートホテルグループ
晴海グランドホテル 03(533)7111
川崎グランドホテル 044(244)2111
芝グランドプラザ 03(434)5761
代表取締役 溝 渕 真 清 (32回生)

日章造園株式会社

代表取締役社長 千 原 望 (33回生)
代表取締役相談役 澤 村 良 節 (33回生)
東京都目黒区下目黒3丁目8番5号 〒153
Tel.03-716-3221 / Fax.03-716-3226

野村證券株式会社
第一企業部
部 長 **篠 原 賢 二** (35回生)

〒103 東京都中央区日本橋1-9-1
TEL 03-211-1811(代表)
03-273-8974(直通)


株式会社 くもん出版

代表取締役社長
中 城 正 堯

東京都千代田区三崎町3-6-9 〒101
日通千代田ビル
TEL(03)239-1427(直) (03)234-4001(代)

ルイ・ヴィトン ジャパン株式会社

代表取締役社長 **秦 郷 次 郎**
(31回生)

〒107 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル
電話 (478) 3694番

リクルート人材センター

専務取締役 溝 渕 真 清 (32回生)
内 田 靖 子 (57回生)

労働大臣許可13コサツモ0001号
東京都港区西新橋1-10-2
リクルート西新橋ビル 〒105
電話 03(508)9141(代表)
大阪 / 電話 06(304)2811
名古屋 / 電話 052(562)3751
横浜 / 電話 045(316)1311


切花輸入専門商社

株式会社クラシック
代表取締役
西 尾 義 彦 (33回生)

東京都渋谷区神宮前6-12-20
東洋ビル7F 〒150
TEL. 03-797-4950 (代)

弁 護 士 **浅 井 和 子**

(35回生)

〒102
東京都千代田区麴町4-7-2
直江・浅井・山森法律事務所 TEL(221)8831

同学社版・新修ドイツ語辞典刊行
株式会社 同 学 社

取締役
社 長 **近 藤 久 寿 治**
(6回生)

東京都文京区水道1-10-7
電話(03)816-7011(〒112)

浄水場・下水処理場各種機械設備設計・施工
月島機械株式会社

専務取締役 **吉 澤 信 一**
(16回生)

〒104 東京都中央区佃2-17-15
TEL 03-533-4111


公文教育研究会

取締役
教育主幹

岩 谷 清 水
(27回生)

東京都千代田区五番町3番1号 〒102
五番町グランドビル
電話03-234-4651(代)
大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532
公文教育会館
電話06-304-7611(代)

三陽美術印刷株式会社

代表取締役社長
東 條 稲 夫 (28回生)

豊島区南大塚3-38-13 正和ビル
TEL 03-981-3079

壺坂電機株式会社

代表取締役 **壺 坂 博 文**
艶子 (28回生)

〒192 東京都八王子市石川町1683-1
☎ (0426) 46-1127(代)

三菱電機株式会社

相 談 役

進 藤 貞 和
(3回生)

〒100 東京都千代田区丸の内2丁目2番3号


公文教育研究会

会長 **く も ん と お る 公 文 公**
(7回生)

大阪市淀川区西中島5丁目6番6号 〒532
公文教育会館
電話 06-304-7611(代)
東京都千代田区五番町3番1号 〒102
五番町グランドビル
電話 03-234-4651(代)

**圧縮空気除湿装置
吸着精製装置**

AUTO-PUREX
丸谷化工機株式会社

代表取締役社長 **山 本 高 敬** (25回生)

〒100 東京都千代田区大手町2-6-2 日本ビル

税金・相続・利殖の総合コンサルタント
株式会社 明治生命保険代理社

市場開発部長 **中 田 庸 穂**
(28回生)

〒103 東京都中央区日本橋小伝馬町2-3
(川島ビル7F) TEL 03-663-4231


三菱石油株式会社

販売部長

泉 谷 良 彦 (29回生)

〒105 東京都港区虎ノ門1丁目2番4号
TEL (03) 595-7367